

コード	601031301
記入日	H26.6.2

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	前田 芳朗
担当者	大水 広和

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	ふるさと応援寄附事業
----------	------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	6	政策名称	参加と行政による協働のまちづくり	款コード	2
施策コード	601	施策名称	行財政の効率化の推進	項コード	1
基本事業コード	60103	基本事業名称	効率的、効果的な財政運営と役場のスリム化	目コード	7
事務事業コード	6010313	事務事業名称	ふるさと応援寄附事業	細目コード	1084
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町ふるさと応援寄附条例・施行規則		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標					
(対象1) 町にゆかりのある個人又は団体 (対象2)	(対象指標1) 不特定 (対象指標2)					
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・本町を応援したいという気持ちをお持ちの個人又は団体に寄附制度の周知を図り、寄附を募る。寄附金は基金に積み立て、寄附者の意向に添った事業に活用する。	***** 町人会等でのPR回数	4回	100%	PR回数÷ 目標PR回数	***** 平成25年度
		① (達成率分析)	計画どおりの周知を図った。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）					
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
	・「新上五島町を応援したい」という思いをお持ちの方から寄附金を募り、本寄附金を財源として「つばき香り豊かな海と歴史文化を育む自立したしま」を目指し、7つの政策メニューに沿った事業を行い、活力に満ちた地域づくりに資することを目的とする。	***** 寄附者数	704人	704%	寄附者数÷ 目標寄附者数	***** 平成25年度
		① (達成率分析)	町人会等でのPR効果に加え、ブログや寄附金関係のサイト、TV報道などを通じ寄附者が急増した為、県内17件・県外687件の寄附を頂いた。			
		② (達成率分析)	***** 寄附金活用事業数 6事業 100% 実施事業数÷ 計画事業数 平成25年度			
			7つの政策メニューに沿い計画した6事業について基金を活用し実施することができた。			

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 回	30	30	26	4	4				
	②									
成果指標	① 人	344	948	244	100	704				
	② 事業	18	18	12	6	6				
総事業費 C (A+B)	千円	9,949	12,749	6,635	3,314	6,114				
直接事業費 A	千円	5,749	5,749	3,135	2,614	2,614				
人件費 B	千円	4,200	7,000	3,500	700	3,500				
内訳	従事職員数	人	0.6	1.0	0.5	0.1	0.5			
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	9,949	12,749	6,635	3,314	6,114			

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	ふるさと納税制度に沿った手法で、ふるさと・新上五島町を応援したいという方の思いを地域づくりに役立てる為に必要である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	町人会や都市部でのイベントなどでPRや広報を行い、町ホームページを活用し寄附金の利用状況なども周知する事により寄附者が増加している。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	継続的、定期的なPRを行い制度の趣旨を周知していく。さらに効果的な寄附金の活用を図り、実施事業についても周知していく。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	制度の周知が浸透し継続的な支援を行っている方も増加している。寄附金の活用に関しても寄附者の意向に沿った事業を実施している。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	寄附件数の増加により事務処理量が増加しているため、管理システム等の導入により人件費を抑制する事が可能である。寄附件数の推移等を踏まえて検討の必要がある。	

**改善 ( ACTION )**

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	制度の周知については、効果的に周知が図れた。寄附金の活用に関しては寄附者の意向に沿って、必要な事業を効果的に実施できた。
	今後、課題に向けた改善策	基金を活用し、メニューに沿った効果的な事業を継続して実施し地域づくりに活用していく。

2次評価	ふるさと納税制度の趣旨に沿ったものであり妥当である。PR等については、帰省客へのチラシ配布、観光物産イベント等の宣伝時に合わせてPRするなど連携してより効果的に行うこと。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●	●		このまま事業を継続				事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●	●		このまま事業を継続																														
				事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。